

第106回

健康のススメ

板東 浩

あなたは、常に相談できる医者がいるだろうか？
これは重要なことだ。長年にわたり、自分だけではなく家族のいろいろな状況も知ってもらっておくとよい。そうすれば、何らかの健康問題が持ち上がったとき、適切な対応や助言、紹介をしてもらえらう。

このような医師の概念について、呼び名が多数ある。厚生労働省は主治医・家庭医、高齢者担当医、医師会では総合医・総合診療医、かかりつけ医、医学会からは総合内科医、老年病専門医、老年総合医など。以上の名称9個には各立場からの事情があるが、患者にはわかりにくい。そこで、以前から用いられているプライマリ・ケア医（PC医）を使うのはいかがだろうか？

プライマリ（primary）とは第一の、最初の、重要

な、主要な、最高級な、という意味だ。類語として、オペラの主役歌手や主演女優の意で使われるプリマ・ドンナ（prima donna）がある。イタリア語の donna とは、ドンナ意味か？ 婦人とか婦人服という意で使われているのをご存じだろう。

美しい婦人をベラドンナ（bella donna）と呼ぶ。

可憐な花の名前でもあり、また薬剤でもある。由来は、古く女性が目を魅力的に見せるため、瞳孔を散瞳させる点眼薬として使ったことによる。

さて、人は車やコンピュータではない。パーツを別々に直したり取り替えたりできない。心も身体も、家族も環境も、すべてが統合されたものだ。見た目ではなく、目を覚まして何が重要なのかを考え、各自と家庭がPC医を持ち、健康を保ってほしいと思う。

（医学博士、内科医）

「PC医を持とう」